

# わっくつ

～明るく かしこく たくましい子ども～



三王岩は大きいぞ！

## 「大地震の後には津波が来る」 ～被災地訪問で学んだこと～

11月1日（金）柳沢中学校は被災地訪問を行いました。今年は宮古市田老地区へ行き、現地の方から熱心に説明していただきました。

当日は朝8時に柳沢小中学校を出発し、バスに揺られて現地についたのは10時20分ぐらい。途中休憩をはさみ、天気にも恵まれて、順調に始まりました。



現地では宮古観光文化協会のガイド、鈴木さんの説明で田老地区内の各地を回りました。

最初に訪れたのは田老第一小学校。今も普通に小学校として使用されている施設ですが、同じ学区の田老第一中学校の校舎と比べて、3メートル高い位置にあり、そのおかげで大震災の津波に飲まれることはなく、無事に今を迎えているそうです。この一画に立っている石碑が「大海嘯記念」

（だいかいしょうきねん）の碑です。この石碑は明治9年の三陸大津波、昭和8年の昭和三陸大津波で被災した後に、住民が後世に教訓を残すために建てたものです。「大地震の後には～」の一節は五ヶ条の第一番目です。残念ながらこの石碑が本格的に注目されたのは東日本大震災の後でしたが、祖先の残したことばの中に、これからの金言（重要な言葉）があったことは、私たち内陸の人間にとっても大切にしたい出来事でした。生徒の皆さんも鈴木さんの説明に聞き入っていました。

次に向かったのは「旧防潮堤」です。実際にこの防潮堤の上へのぼり、説明を受けながら、港の様子をみたり、壊れた防波堤の断面を確認したりしました。震災前は世界に誇る大きさに「絶対に津波の被害を出さない」という住民の意気込みを象徴する施設でした。しかし大きな津波は防潮堤をあっさり超え、弱い部分が大きく壊れました。津波のもつエネルギーの大きさを感じました。



そして三王岩の避難路を体験した後、向かったのは「たろう観光ホテル」。大津波の被害で1階と2階は骨組みだけになってしまいましたが、震災の遺構として保存されています。6階の旧客間で、その部屋の窓から撮影された津波の映像をみんなで見ました。鈴木さんの説明も具体的でわかりやすく、生徒の皆さんは大津波を疑似体験できたようです。



この訪問の後に各自で学んだことをまとめました。「津波が起きたら迷わず、高いところに逃げるのが大事。」など生徒の皆さんには多くの学びがありました。中には津波から、身近にある地震や噴火にまで考えを広げている生徒もいました。これで防災学習が終わりではありませんが、今後につながる大きな体験になったようです。

# ひびけ、私たちのハーモニー！ ～ 滝沢市小学校音楽会より ～



10月30日（水）盛岡市民文化センター（マリオス）の大ホールを会場に滝沢市小学校音楽会が開催され、本校の児童も全員で出演しました。発表した曲は学習発表会でも発表した「虹が」とクラッピングファンタジー第4番の2曲でした。すでに一度は発表した曲でしたが、元職員の潮田千鶴先生、公恵先生、チェリ先生等の熱心な指導を受け、前日まで一生懸命練習し、磨きをかけて出演しました。

大勢に見られ、緊張した中での発表でしたが、やなぎっ子の皆さんは全力で発表できたようです。講評を担当した小原先生からは次のようなコメントをいただきました。

	講 評
1曲目： 虹が	歌声が柔らかく、明るく、まるで妖精が歌っているようでした。素敵な選曲とそれにぴったりの合唱奏でした。
2曲目：クラッピングファンタジー第4番	メロディーとリズムがぴったりと寄り添い見事です。強弱も微妙な所が表現されていてとても感心しました。お見事です。

「一念天に通ず」という言葉があります。一生懸命努力した物事は、いつかよい結果となってあらわれるという意味です。まさに児童の皆さんは努力して磨いたハーモニーを会場に響かせることができました。

## 今年も行ってきました！



授業の一環で描いた柳沢の風景画をMOA美術館岩手県北児童作品展に出品し、4年生の渡辺一休さんが市長賞に、新井桜さんが教育長賞に選ばれました。賞の順位としては全体で1番目と2番目に高い評価だそうです。そこで10月25日（金）に本人、保護者、校長、担任で滝沢市役所を表敬訪問し、武田哲市長にその成果を報告しました。二人の作品は桜の季節を描いた絵で、絵のうまさとともに柳沢の景色の美しさもほめていただきました。出張中だった太田厚子教育長も駆けつけていただき、話が盛り上がりました。

ちなみに一休さんは昨年も入賞し、昨年引き続き2回目の表敬訪問でした。

## ちょこっとお知らせ いただきました！！



10月のとある日、会議があり滝沢市教育委員会の太田厚子教育長が本校にいらっしゃいました。その姿を見つけた1・2年生の皆さんはよくできた自慢のサツマイモをプレゼントしたくなったそうです。校長室をノックし、丁寧にお話をして教育長さんへサツマイモをプレゼントしました。その後、数日して教育長さんから低学年の皆さんへ丁寧に書かれた御礼の手紙と一人一枚の名刺が届きました。お互いの思いが通い合ったできごとでした。